

2022年11月11日

3社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先3社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 株式会社 翔和
- (2) 株式会社 サンヴィレッジ
- (3) 株式会社 秀建

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 翔和	株式会社 サンヴィレッジ
代 表 者	代表取締役 田中 清文	代表取締役 三村 挑嗣
所 在 地	埼玉県越谷市川柳町 2-544	栃木県足利市寺岡町 351
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレス加工、機械加工、製缶、板金業 （パケットコンベア、フライトコンベア及び関連部品等） ・舞台、スタジオ用照明器具製造業 ・コンクリート二次製品用型枠及び部品製造業 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光設置工事、販売、保守、管理業 ・太陽光発電事業 ・蓄電池、住宅用太陽光システム工事業 ・土木建築、電気工事業 ・小売電気事業
設 立	2000年5月18日	2014年2月14日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けられる環境と地域社会に優しい会社を目指す ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・「生産性向上」と「ワークライフバランス」の両輪経営を体現する ・持続可能なものづくりの生産体制を推進する ・同業者や協力会社とのパートナーシップ構築を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー事業の促進 ・環境にやさしいものづくり ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

企 業 名	株式会社 秀建
代 表 者	代表取締役 北井 秀樹
所 在 地	埼玉県久喜市菖蒲町下栢間 93-43
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・建物耐火被覆工事 ・ALCパネル施工工事
設 立	1990年6月5日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全なまちづくりに貢献していく ・温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指す ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す ・自社および事業の環境負荷を軽減させる ・秀建グループや同業者との連携を高める



2022年11月8日

株式会社秀建 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。
代表取締役 北井 秀樹

SDGsの達成に向けた取り組み

安心・安全なまちづくりに貢献していく

・耐火性、耐震性や断熱性の高いALCパネル(※)の施工で、安心・安全
で自然災害に強いまちづくりに貢献していきます。

※ALCパネル：珪石、セメント、生石灰、発泡剤のアルミ粉末を主原料とした軽量気泡コンクリート建材で、軽さと強度、断熱性を合わせ持った優れた建材です。

【指標】

会社全体の売上の増加(増加割合) ⇒ 2030年度 +10%



温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指す

・ALC工事や耐火工事の施工で高い断熱性能を実現し、建物の省エネルギー化に貢献していきます。

・ソーラー発電システムにより使用エネルギーを再生可能エネルギーに切り替えていきます。

・併設したEV充電スタンドは協力会社にも開放し、CO2排出量の削減効果を高めています。

【指標】

年間のCO2削減量 2021年度 0kg ⇒ 2030年度 14,740kg



従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

・売上の一定割合を資格取得の補助費用とし、国家資格『建築施工管理士』の資格保有者を増加させます。

・外国人従業員に対しては、作業に必要な資格取得のための講習会や、日本語、生活ルール、マナー等の勉強会を実施していきます。

・年間休日数の増加を進め、完全週休二日制の実現を目指します。

【指標】

建築施工管理士の資格保有者 2021年度 従業員全体の 8% ⇒ 2030年度 15%



自社および事業の環境負荷を軽減させる

・4R活動(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、事業
で発生する建築副産物の最終処分率の低減を目指します。

・資材や消耗品の無駄な廃棄をなくしていきます。

【指標】

建築副産物の最終処分率 2021年度 3.7%以下 ⇒ 2030年度 0.5%以下



秀建グループや同業者との連携を高める

・グループ会社や協力会社との情報交換を継続して行い、パートナーシップ
を高めていきます。

・会社全体で様々なレクリエーションを実施し、社内の連携を高めていきます。

